

EUROPORT PPA2000BT/PPA500BT

Ultra-Compact 2000/500-Watt 8/6-Channel Portable PA System with Bluetooth Wireless Technology, Wireless Microphone Option, Klark Teknik Multi-FX Processor and FBQ Feedback Detection

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

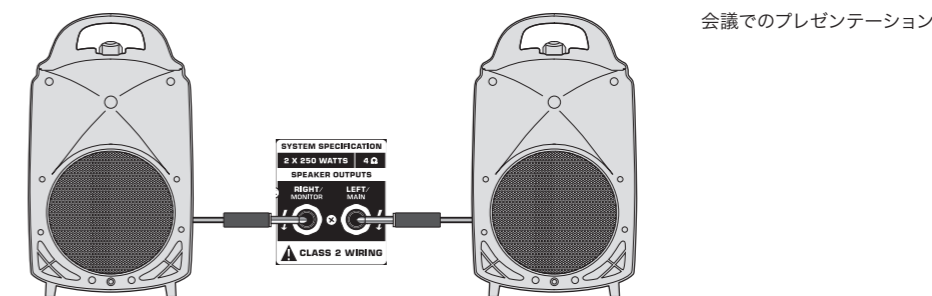
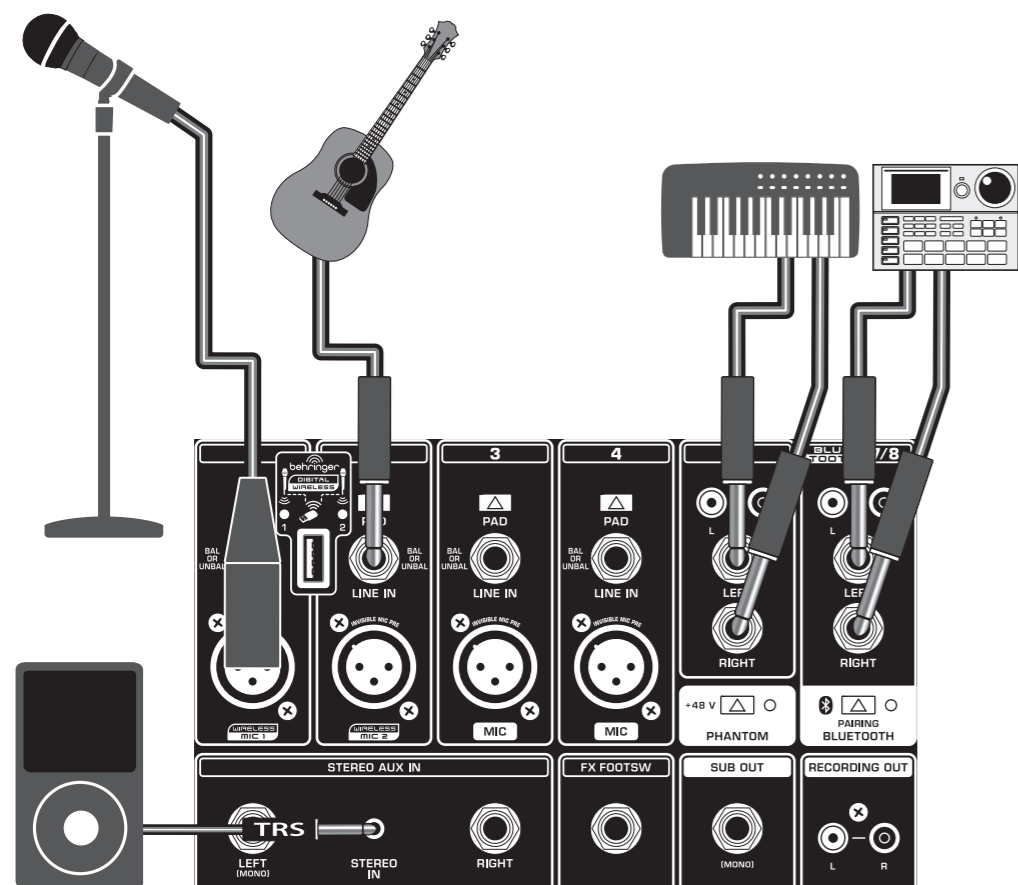
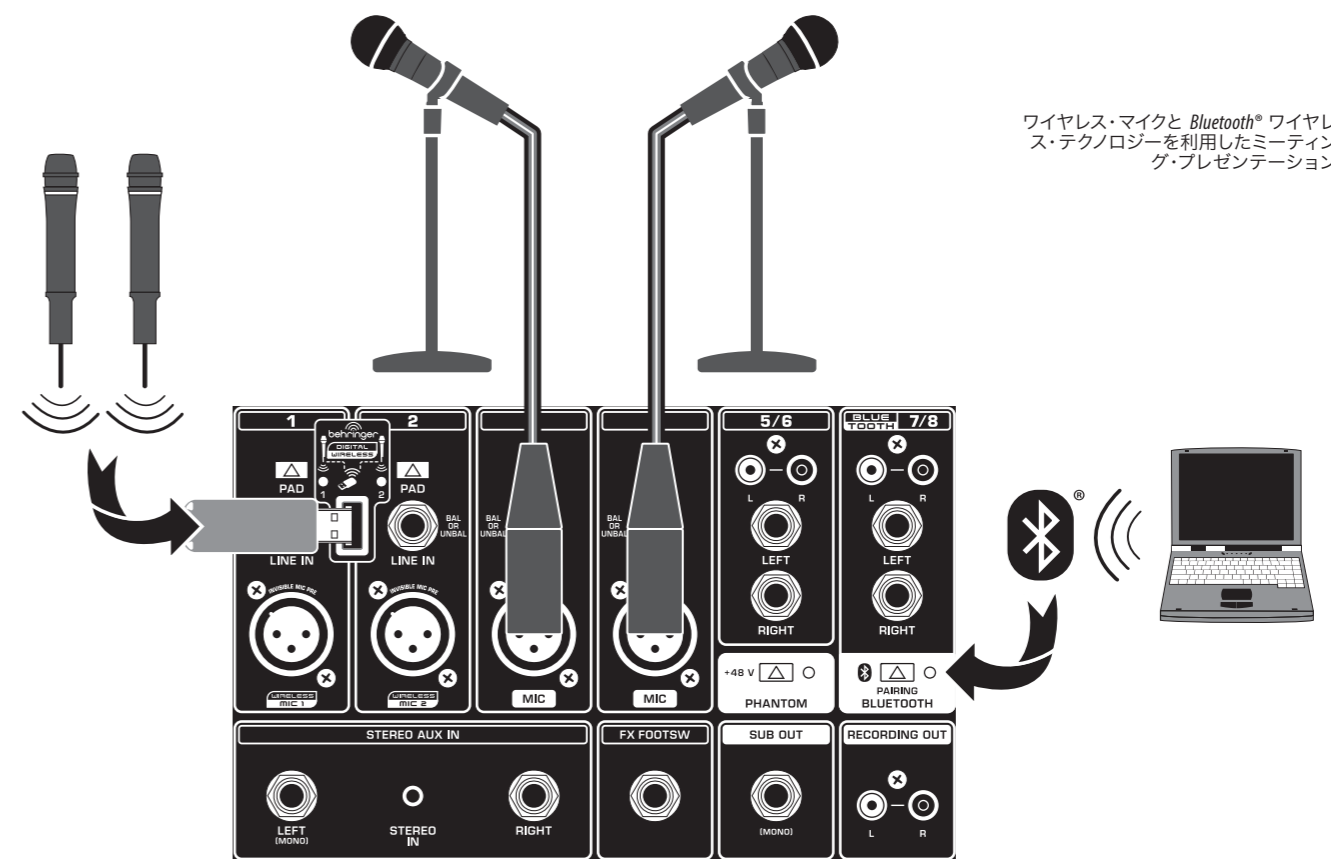
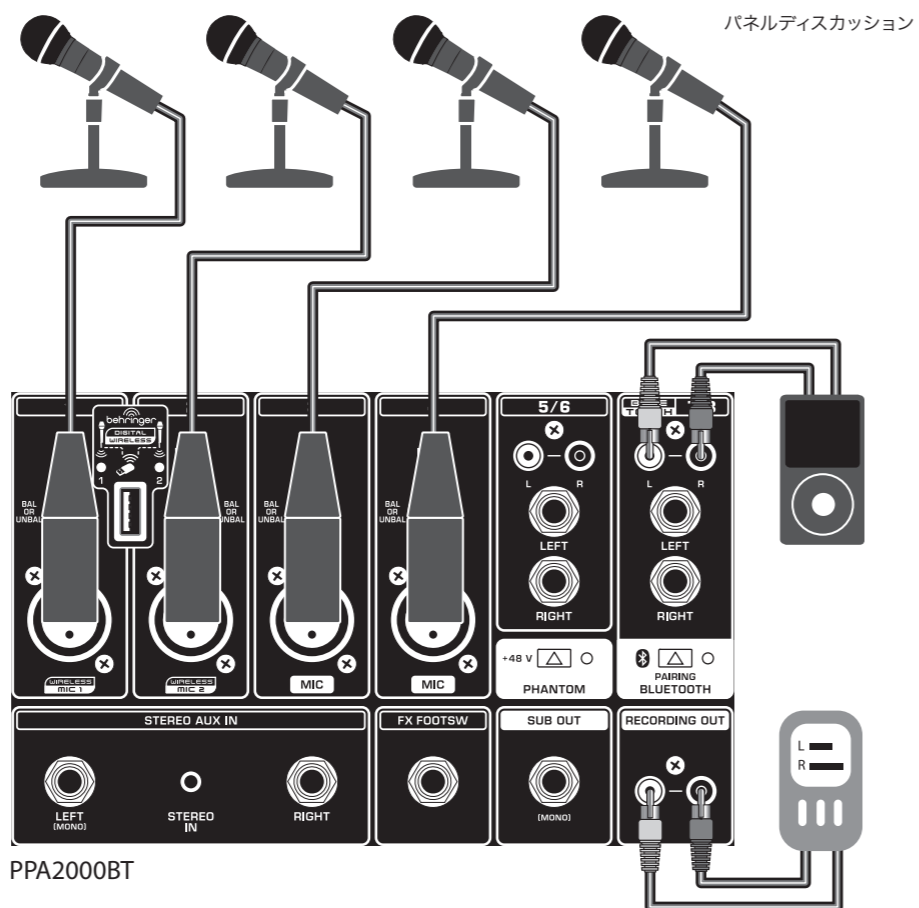
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

PPA2000BT/PPA500BT フックアップ

ステップ 1: フックアップ

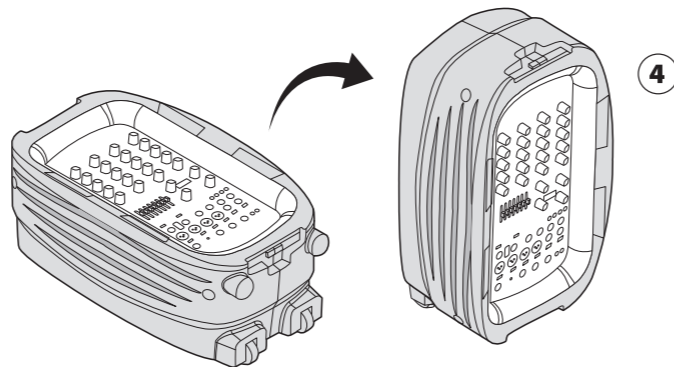
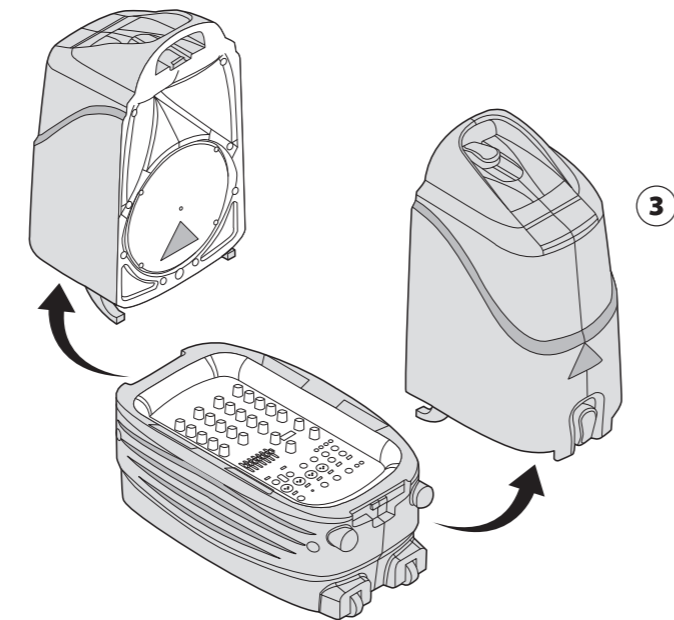
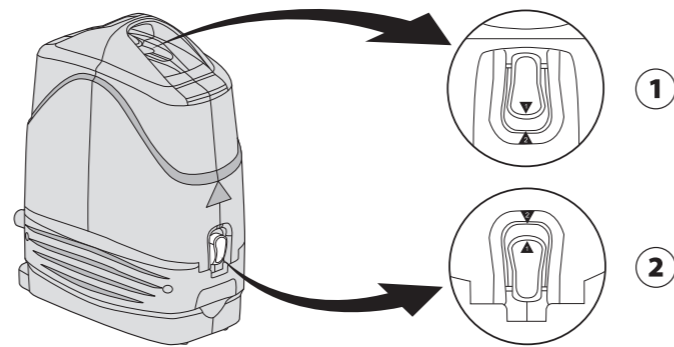


PPA2000BT/PPA500BT 設定

JP

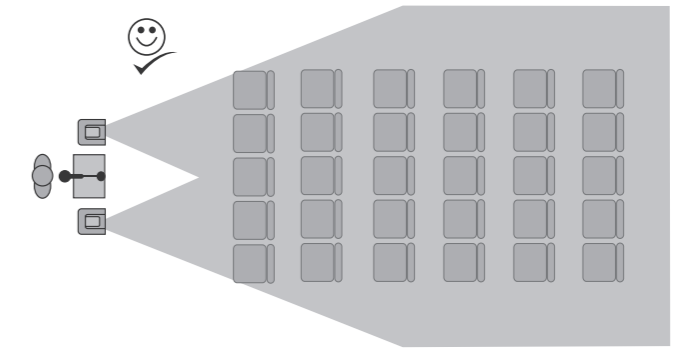
ステップ 2: 設定

- 1** キャリングハンドルの下にある、トップラッチを開放します。
- 2** サイドラッチを押してから持ち上げて開放します。
- 3** スピーカーを取り外して、適切な場所に配置します。
- 4** ミキサーを立てます。(付属のスピーカーケーブルが、両方のスピーカーに届くことを確認します)。

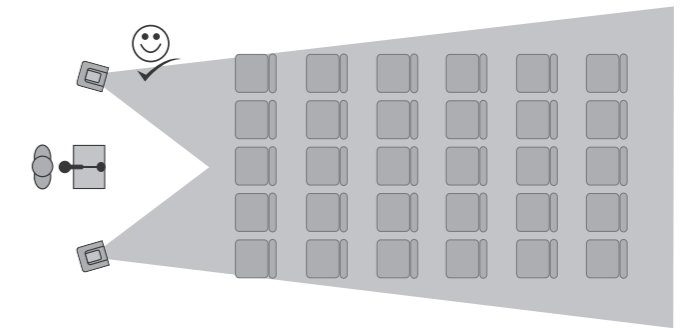


PPA2000BT (PPA500BT にはローラ
ーホイールは付属しません)

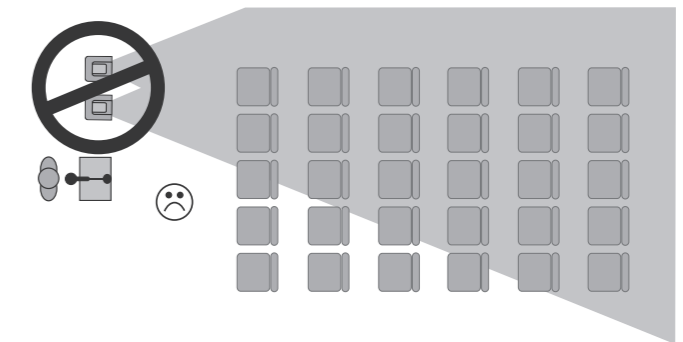
推奨されるスピーカーの配置、左右



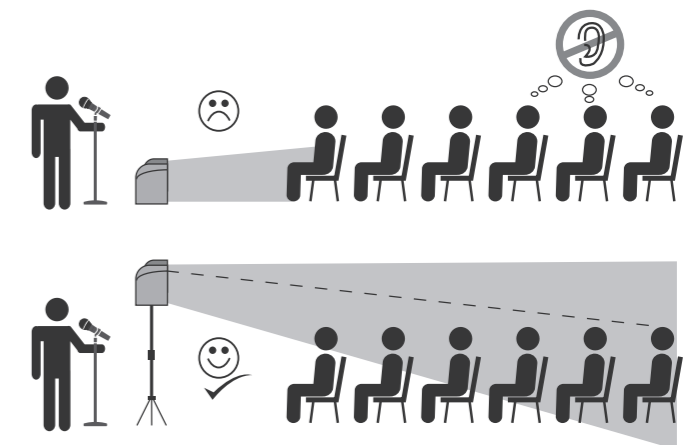
推奨されるスピーカーの配置、角度をつけた左右



推奨されないスピーカーの配置



推奨されるスピーカーの高さ



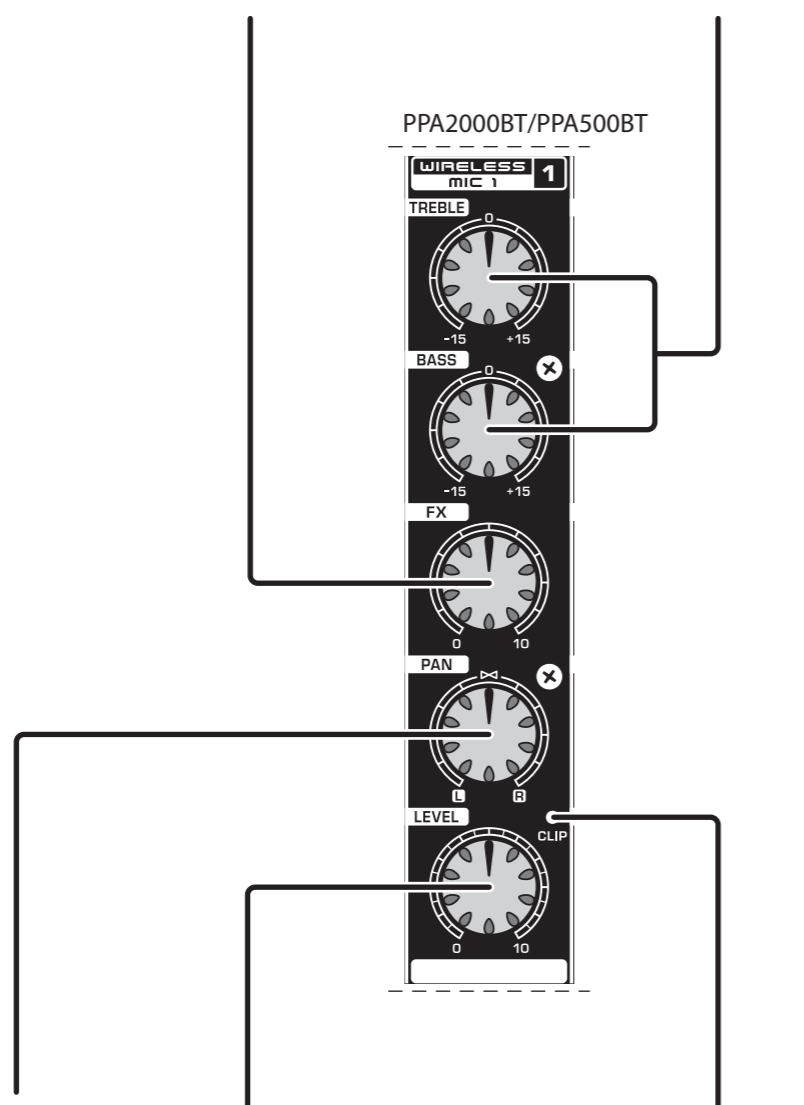
PPA2000BT/PPA500BT コントロール

JP

ステップ 3: コントロール

FX ノブは、それぞれのチャンネルの信号がどれだけ MULTI-FX PROCESSOR に入力されるかを決定します。

EQ KNOBS (イコライザー・ノブ) これらのノブで、個々のチャンネルの低周波または高周波を、最大 15 dB ブーストもしくはカットします。



PAN ノブは、ステレオフィールドにそれぞれのチャンネルを配置します。

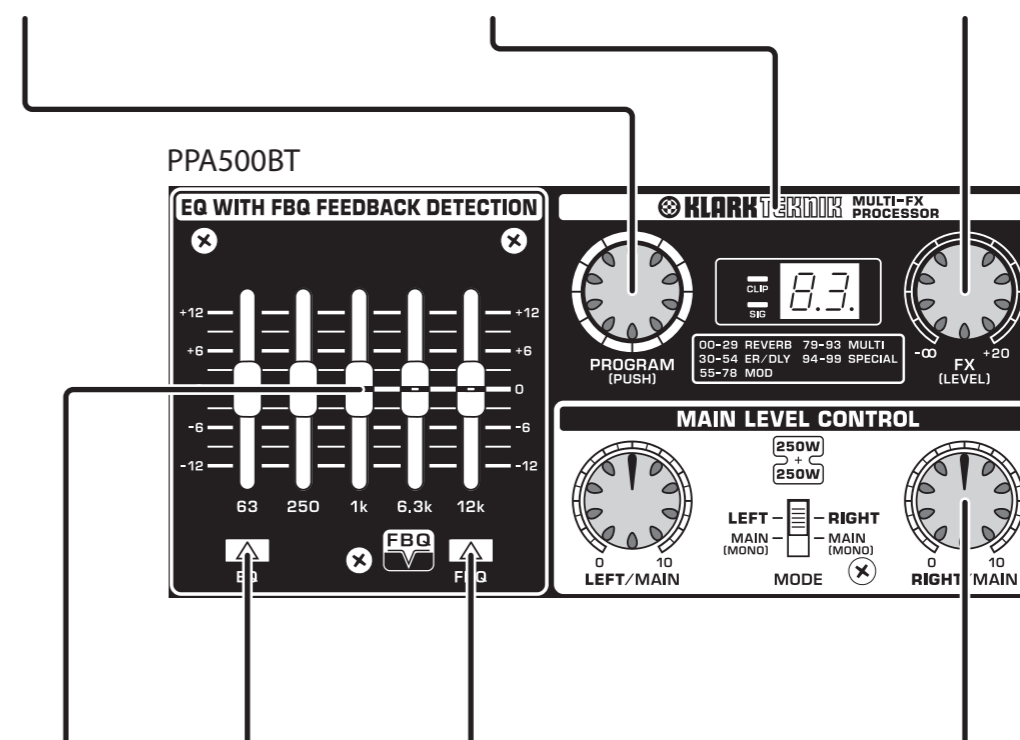
LEVEL のぶは、全体のミックス内で、個別のチャンネルの音量を調整します。

CLIP LED は、入力信号がチャンネルを過負荷状態にした場合に点灯します。

PROGRAM [PUSH] ノブは、エフェクト設定をコントロールします。このノブを回してエフェクトパッチをスクロールし、パッチを選択するにはノブを押します。

MULTI-FX PROCESSOR ユニットは、FX ノブを回してあるチャンネルに対して、選択されているサウンドエフェクトを追加します。エフェクトには、リバーブ、コーラス、ディレイおよびピッチシフターが含まれます。

FX [LEVEL] ノブは、メインミックスに追加されるエフェクトの量をコントロールします。



GRAPHIC EQ は、音響スペクトル内の特定の周波数を調整します。

EQ ボタンは、GRAPHIC EQ を有効にします。

FBQ ボタンは、FBQ フィードバックディテクションシステムを有効にします。この機能を有効にするは、EQ IN ボタンも有効にしておく必要があります。

MAIN LEVEL CONTROL は、メインミックスの全体的な音量を調整します。MODE スイッチは、ステレオまたはモノラルでの操作を選択します。

PPA2000BT/PPA500BT コントロール

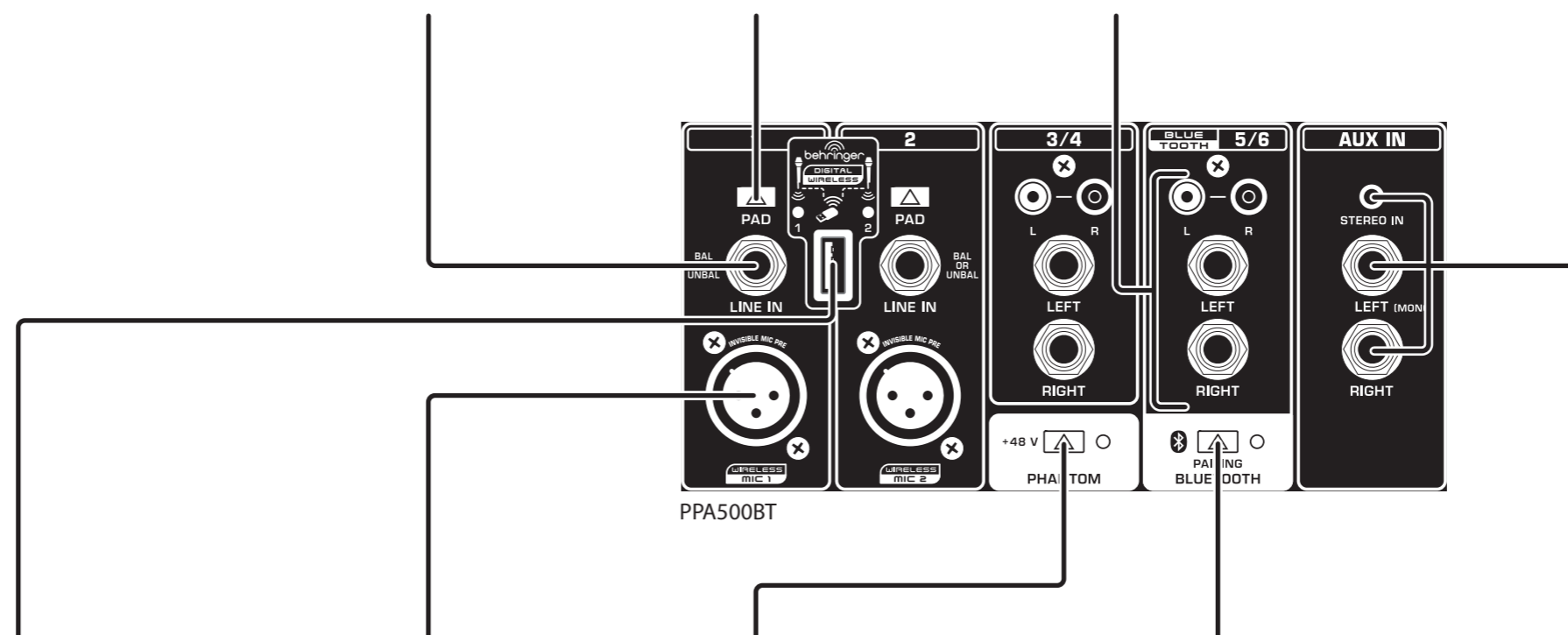
JP

ステップ 3: コントロール

LINEIN ジャックは、楽器、CD プレーヤー、サブミキサーまたは $\frac{1}{4}$ プラグのケーブルを使用するその他のラインレベルソースを接続します。これらの弱は、バランスおよびアンバランス信号の両方を受け付けます。

PAD 機能は、チャンネル入力信号を 20 dB 引き下げます。チャンネルの CLIP LED が点灯する場合に、この機能を有効にします。

STEREO CHANNELS は、RCA ケーブルまたは $\frac{1}{4}$ TS プラグを使う単一の音源から送られてくる左右の出力を受け付けます。



DIGITAL WIRELESS USB (デジタル・ワイヤレス USB 入力) には、オプションの Behringer ワイヤレス・マイクロフォン・レシーバーを接続します。LED にはワイヤレス・マイクロフォン信号入力の状態が表示されます。

注意: PPA2000BT/PPA500BT とお使いの Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジー機器の接続レンジは、Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジーとワイヤレス・マイクロフォンを同時使用した場合には狭まります。

MIC INPUT ジャックは、XLR ケーブルを使うダイナミック (ハンドヘルド) またはコンデンサー・マイクロフォンを受け付けます。

PHANTOM ボタンは、コンデンサー・マイクロフォンの電源として、48V のファントムパワーを MIC 入力に送ります。

お使いの Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジー機器を接続する **BLUETOOTH® PAIRING** ボタンおよびインディケーター。

AUX IN 入力は、単一の $\frac{1}{8}$ インチ TRS ステレオプラグまたは左右の $\frac{1}{4}$ インチプラグを介してステレオ信号を直接メインミックスに入力します。

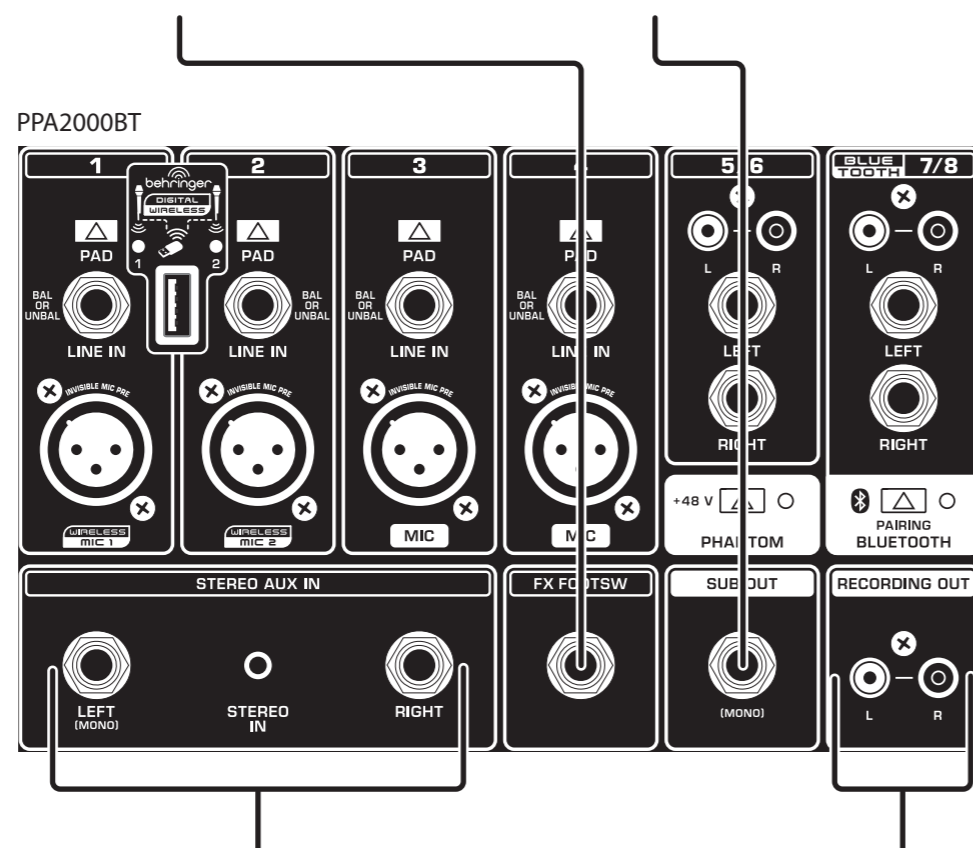
PPA2000BT/PPA500BT コントロール

JP

ステップ 3: コントロール

FX FOOTSW ジャック
1/4 インチ TRS プラ
グでオプションのフ
ットスイッチを接続
し、エフェクト・プ
ロセッサのアクテ
イベート / ディアク
ティベートをおこな
います。

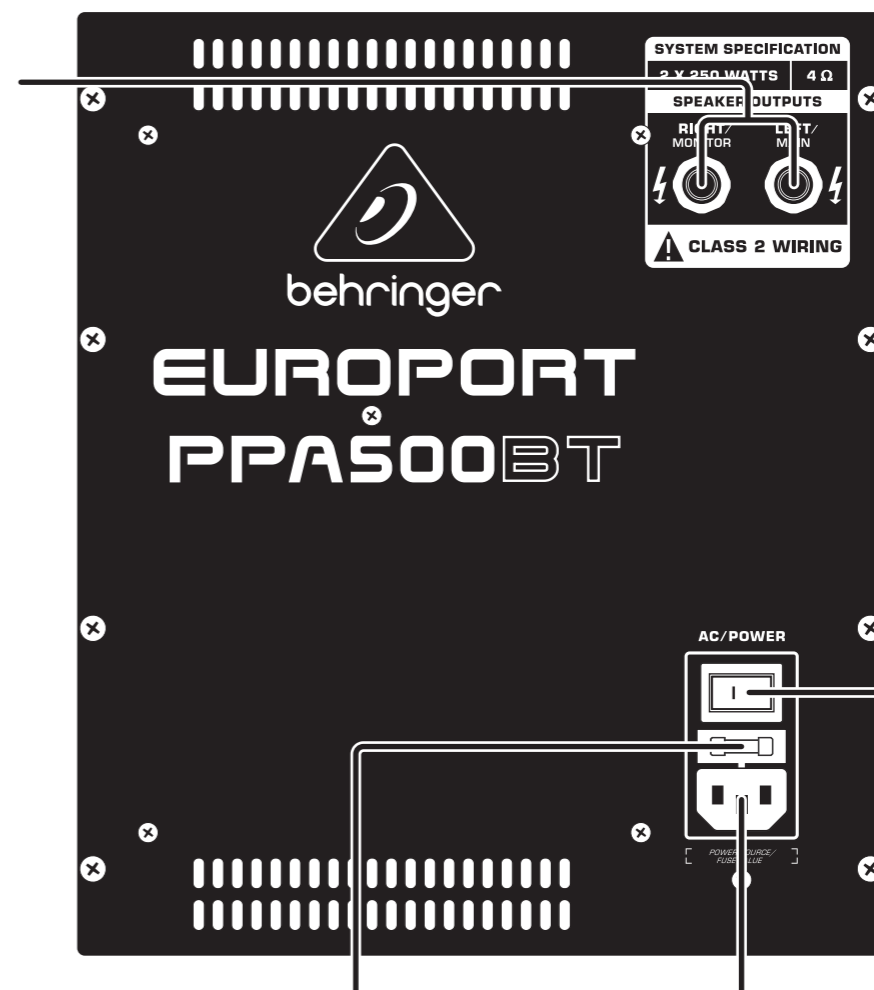
SUB OUT ジャックメ
イン・モノ信号を、
アクティブなサブウ
ーファーまたはパワ
ー・アンプリファー
に送信します。



STEREO AUX IN 入力
は、単一の 1/8 イン
チ TRS ステレオブ
ラグまたは左右の
1/4 インチプラグを
介してステレオ信号
を直接メインミッ
クに入力します。

RECORDING OUT ジャ
ックは、メインミッ
クス信号を外部録
音機器または別の
ミキサーに出力し
ます。

SPEAKER OUTPUTS
は、1/4 プラグを使っ
てスピーカーを接
続します。楽器のケ
ーブルは絶対に使
用せず、付属のスピ
ーカだけを使用し
てください。



FUSE ヒューズはこ
こで交換します。

POWER SOURCE ジャ
ックは、同梱の IEC
電源ケーブルを受
け付けます。

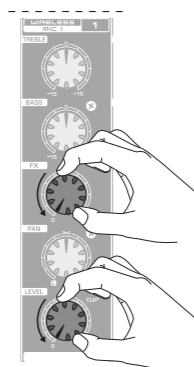
POWER スイッチ
は、ユニットの電
源をオン・オフし
ます。

PPA2000BT/PPA500BT はじめに

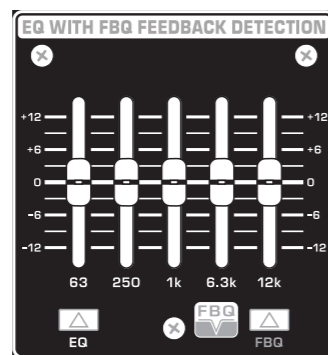
JP

ステップ 4: はじめに

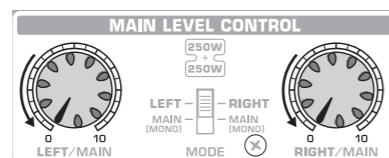
- 1 付属のスピーカーケーブルをスピーカーに接続し、ミキサー背面の SPEAKER OUTPUTS に接続します。
- 2 ミキサーに、必要とされるオーディオを接続します。すべての外部機器の電源を切ります。
- 3 すべてのチャンネル・コントロール類を図のように設定してください (TREBLE, BASS, および PAN が中央; FX および LEVEL が反時計回りに目一杯)。



- 4 GRAPHIC EQ フェーダーを中央に設定します。

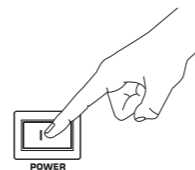


- 5 MAIN LEVEL CONTROL ノブを反時計回り一杯に絞ります。

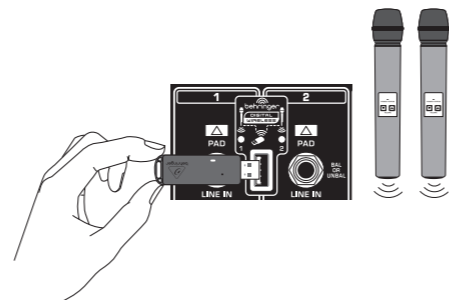


- 6 すべての外部機器の電源を入れます。

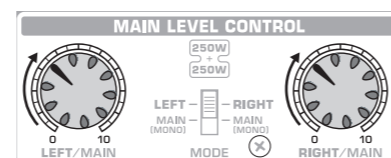
- 7 AC/POWER ボタンを押し、PPA2000BT/PPA500BT の電源を入れます。



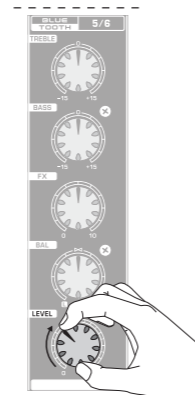
- 8 Behringer ULM ワイヤレスマイクを使用する場合は DIGITAL WIRELESS USB 入力にワイヤレス dongle を差し込みます。ワイヤレスマイクがアクティブの場合 DIGITAL WIRELESS LED が点灯します。



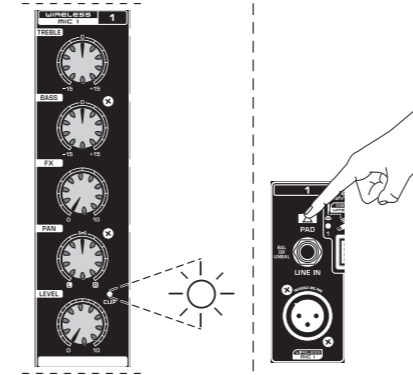
- 9 MAIN LEVEL CONTROLS をゆっくりと時計回りに 1/3 の所まで上げます。



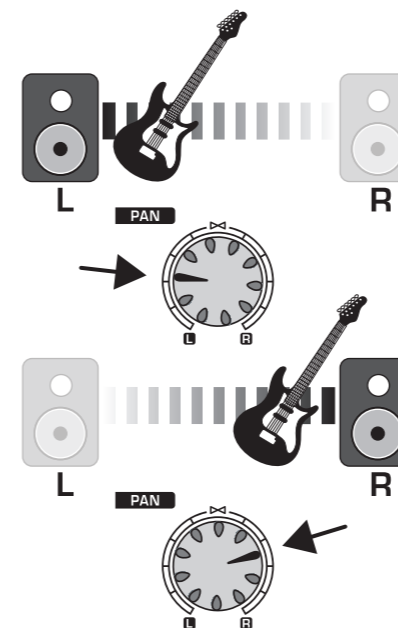
- 10 各チャンネルの LEVEL ノブを時計回り (音量を上げる) または反時計回り (音量を下げる) に動かして、マイクロフォンおよびインストゥルメントの相対的な音量を調節します。



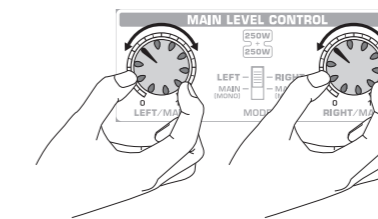
- 11 チャンネルの CLIP LED が点灯した場合、PAD ボタンを押します。もし PAD ボタンがすでに有効になっていた場合、LEVEL ノブを下げます。ラインレベル入力では必ず PAD ボタンを使います。



- 12 チャンネルの PAN ノブを回して、チャンネルのステレオフィールド内の左右の位置を調整します。



- 13 MAIN LEVEL CONTROL ノブを使って、最終的な音量調整を行います。



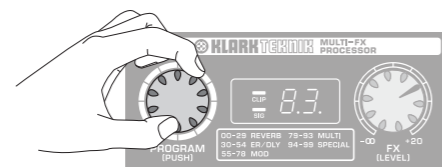
PPA2000BT/PPA500BT エフェクトの追加

ステップ 5: エフェクトの追加

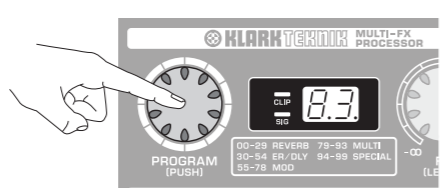
- 1** MULTI-FX PROCESSOR の FX [LEVEL] ノブを約 75% のところに設定します。



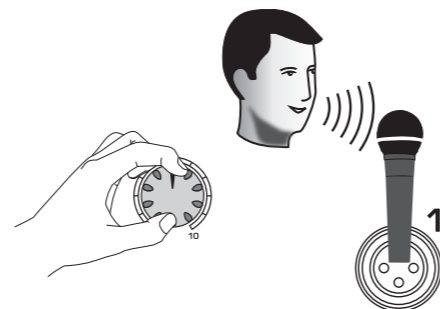
- 2** PROGRAM [PUSH] ノブを回して、利用可能なエフェクトをスクロールします。ディスプレイに表示されている数字が点滅します。



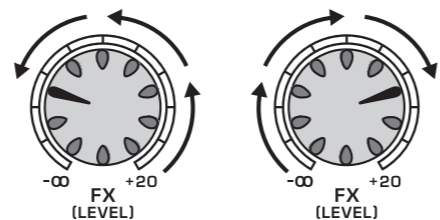
- 3** PROGRAM [PUSH] ノブを押して、エフェクトを選択します。数字の点滅が停止します。



- 4** 話しながら、歌いながら、または演奏しながら、エフェクトをかけたいチャンネルの FX ノブを時計回り / 右方向に動かし、各チャンネルごとに任意のレベルまで上げます。



- 5** MULTI-FX PROCESSOR の FX [LEVEL] ノブを、初期設定の 75% から左右に調節し、メイン・ミックス全体に任意の音量でエフェクトをかけます。

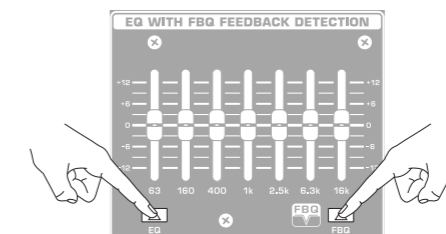


PPA2000BT/PPA500BT FBQ フィードバックディテクション

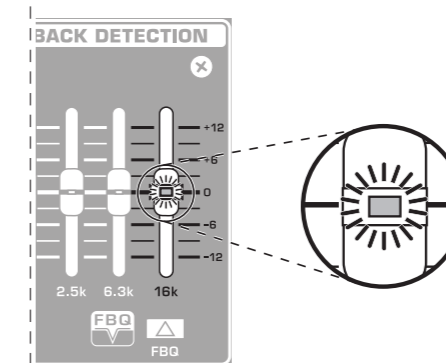
ステップ 6: FBQ フィードバックディテクション

「フィードバック」とは、音波がスピーカーとマイクロホン間でループしたときに発生する、好ましくない高周波の音のことです。

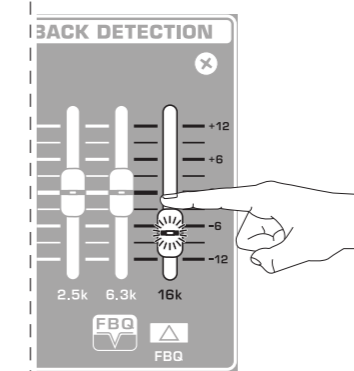
- 1** フィードバックが起きた場合、EQ および FBQ ボタンを押します。



- 2** フィードバックを起こしている特定の周波数に対応する EQ スライダーの LED が点灯します。



- 3** 点灯した EQ スライダーを、フィードバックが消えるまで下げます。



Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジーに接続します

Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジー機器と PPA2000BT/PPA500BT とのペアリングは、以下の手順でおこなってください:

- LED が早く点滅するまで BLUETOOTH® PAIRING BUTTON ボタンを押したままにします。
- お使いの携帯電話、MP3 プレイヤーまたはその他の機器の Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジーをアクティベートし、ペアリングおよび接続をおこないます。
- Bluetooth® 機器に PIN code: 0000 を入力します (Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジー バージョン 2.0 以降では、PIN コードは不要です)。
- LED ライトの光が安定したら、お使いの Bluetooth® ワイヤレス・テクノロジー機器から音楽をプレイできます。

技術仕様

PPA2000BT		PPA500BT	
ミキサーセクション			
入力			
チャンネル 1~2	2 x XLR 2 x ¼" TRS、バランス 1 x 2 チャンネル Behringer ULM デジタルワイヤレス	2 x XLR 2 x ¼" TRS、バランス 1 x 2 チャンネル Behringer ULM デジタルワイヤレス	
チャンネル 3~4	2 x XLR 2 x ¼" TRS、バランス	2 x ¼" TS、アンバランス 2 x RCA、アンバランス	
チャンネル 5/6	2 x ¼" TS、アンバランス 2 x RCA、アンバランス	2 x ¼" TS、アンバランス 2 x RCA、アンバランス 1 x ブルートゥース® ワイヤレステクノロジー**	
チャンネル 7/8	2 x ¼" TS、アンバランス 2 x RCA、アンバランス 1 x ブルートゥース® ワイヤレステクノロジー**	—	
ステレオ Aux	2 x ¼" TS、アンバランス 1 x ⅛" TRS、アンバランス	2 x ¼" TS、アンバランス 1 x ⅛" TRS、アンバランス	
出力			
サブアウト	1 x ¼" TRS、アンバランス	—	
録音する	2 x RCA、アンバランス	—	
チャンネル EQ			
ベース	±15dB @ 80 Hz	±15dB @ 80 Hz	
高音	±15dB @ 12 kHz	±15dB @ 12 kHz	
グラフィック EQ			
タイプ	7 バンド	5 バンド	
ワイヤレス入力			
USB ドングル (含まれていません)	USB ソケットは最大からの信号を受け入れます。Behringer ULM マイク 2 本		
信号表示 LED	2 (緑)		
ブルートゥース®ワイヤレステクノロジー			
周波数範囲	2402 MHz~2480 MHz		
チャンネル番号	79		
バージョン	ブルートゥース®ワイヤレステクノロジースペック 4.0 準拠**		
最大出力	≤5 デシベルミリワット		
互換性	A2DP1.2 プロファイルをサポート		
機能スイッチ			
FBQ	FBQ フィードバック検出システムをアクティブにします		
EQ	グラフィック EQ をアクティブにします		
効果			
タイプ	クラークテクニック		
コンバータ	24 ビットデルタシグマ		
サンプリング周波数	40 kHz		
表示	2 桁、7セグメント		
増幅器			
最大出力電力			
ステレオチャンネルあたり 4 Ω	2 x 1000 W *	2 x 250 W *	
ステレオチャンネルあたり 8 Ω	2 x 500 W *	2 x 160 W *	
システム			
周波数応答	50 Hz~22 kHz		
信号対雑音比	85 dB、A 加重		
スピーカー出力	¼" TS、左右		
スピーカー	10" ウーファーと1"コンプレッションドライバー	8" ウーファーと1"コンプレッションドライバー	
電源/電圧 (ヒューズ)			
アメリカ/カナダ	120 V~、50/60 Hz (T 8 AH 250 V)	120 V~、50/60 Hz (T 5 AH 250 V)	
日本	100 V~、50/60 Hz (T 8 AH 250 V)	100 V~、50/60 Hz (T 5 AH 250 V)	
英国/オーストラリア/ヨーロッパ/韓国/中国	220~240 V~、50/60 Hz (T 5 AH 250 V)	220~240 V~、50/60 Hz (T 3.15 AH 250 V)	
消費電力 @ 1/8 定格電力	180 W	90 W	
主電源接続	標準 IEC レセプタクル		
寸法/重量			
寸法 (H x W x D)	660 x 354 x 883 mm (25.9 x 13.9 x 34.8")	672 x 520 x 304 mm (26.5 x 20.5 x 12")	
総重量	38.4 kg	23.30 kg	
正味重量	34.16 kg	20.30 kg	

*リミッターとドライバー保護回路に依存しない

**ブルートゥース® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、MusicRibe によるそのようなマークの使用はライセンスに基づいています。

エフェクトテーブル

			エフェクトプリセット		
番号.	エフェクト	説明	番号.	エフェクト	説明
HALL 00-09			DELAY 50-59		
00	小ホール1	約 1.0 秒の残響時間	50	ショートディレイ 1	短い碎けるようなエフェクト
01	小ホール2	約 1.2 秒の残響時間	51	ショートディレイ 2	1-2 回の短いインパルス
02	小ホール3	約 1.5 秒の残響時間	52	ショートディレイ 3	1-2 回の短いインパルス
03	中ホール1	約 1.8 秒の残響時間	53	ミドルディレイ 1	アップテンポの音楽に適したクラシックディレイ (115-125 BPM)
04	中ホール2	約 2.0 秒の残響時間	54	ミドルディレイ 2	ミッドテンポの音楽に適したクラシックディレイ (105-115 BPM)
05	中ホール3	約 2.5 秒の残響時間	55	ミドルディレイ 3	スローテンポの音楽に適したクラシックディレイ (95-105 BPM)
06	大ホール1	約 2.8 秒の残響時間	56	ロングディレイ 1	レゲエテンポの音楽に適したクラシックディレイ (85-95 BPM)
07	大ホール2	約 3.2 秒の残響時間	57	ロングディレイ 2	ダブテンポの音楽に適したクラシックディレイ (75-85 BPM)
08	大ホール3	約 4 秒の残響時間	58	ロングディレイ 3	長時間 (ほぼ無限) のディレイエフェクト
09	教会	約 7 秒の残響時間	59	ロングエコー	長時間のキャンオンエコーエフェクト
ROOM 10-19			CHORUS 60-69		
10	小部屋1	約 0.5 秒の残響時間	60	ソフトコーラス 1	目立たないエフェクト
11	小部屋2	約 0.8 秒の残響時間	61	ソフトコーラス 2	目立たないエフェクト (異なるカラーで)
12	小部屋3	約 1.0 秒の残響時間	62	ウォームコーラス 1	アナログサウンド
13	中部屋1	約 1.2 秒の残響時間	63	ウォームコーラス 2	アナログサウンド (異なるカラーで)
14	中部屋2	約 1.5 秒の残響時間	64	ファットコーラス 1	はっきりしたコーラス効果
15	中部屋3	約 1.8 秒の残響時間	65	ファットコーラス 2	はっきりしたコーラス効果 (異なるカラーで)
16	大部屋1	約 2.0 秒の残響時間	66	クラシックフランジヤ	標準的なフランジヤ効果
17	大部屋2	約 2.2 秒の残響時間	67	ウォームフランジヤ	もっとアナログなタッチ
18	大部屋3	約 2.5 秒の残響時間	68	ディープフランジヤ	深いモジュレーション印象
19	礼拝堂	約 3 秒の残響時間	69	ヘビーフランジヤ	非常にはっきりした効果
PLATE 20-29			PHASE/PITCH 70-79		
20	短いプレート	約 1.0 秒の残響時間	70	クラシックフェイザ	標準的なフェイザーエフェクト
21	中間プレート	約 1.5 秒の残響時間	71	ウォームフェイザ	もっとアナログなタッチ
22	長いプレート	約 2.2 秒の残響時間	72	ディープフェイザ	深いモジュレーション印象
23	ボーカルプレート	約 1.2 秒の残響時間	73	ヘビーフェイザ	非常に強力な効果
24	ドラムプレート	約 1.0 秒の残響時間	74	ピッチシフトデチューン	ソロボイスサウンドをより広くするための 2-3 回のデチューン
25	ルドプレート 1	約 1.2 秒の残響時間	75	ピッチシフト +3	マイナーサードの追加ボイス
26	ルドプレート 2	約 2.0 秒の残響時間	76	ピッチシフト +4	メジャーサードの追加ボイス
27	短いスプリング	約 1.0 秒の残響時間	77	ピッチシフト +7	五度上の追加ボイス
28	中間スプリング	約 2.0 秒の残響時間	78	ピッチシフト -5	四度上の追加ボイス
29	長いスプリング	約 2.5 秒の残響時間	79	ピッチシフト -12	1 オクターブ上の追加ボイス
GATED/REVERSE 30-39			MULTI 1 80-89		
30	ゲートリバーブ短	約 0.8 秒のゲートタイム	80	コーラス+リバーブ 1	ソフトコーラス + ミディアムショートリバーブ
31	ゲートリバーブ中	約 1.2 秒のゲートタイム	81	コーラス+リバーブ 2	ディープコーラス + ミディアムロングリバーブ
32	ゲートリバーブ長	約 2.0 秒のゲートタイム	82	フランジヤ+リバーブ 1	ソフトフランジヤ + ミディアムショートリバーブ
33	ゲートリバーブ特大	約 3.0 秒のゲートタイム	83	フランジヤ+リバーブ 2	ディープフランジヤ + ミディアムロングリバーブ
34	ゲートリバーブドラム 1	約 0.8 秒のゲートタイム	84	フェーザー+リバーブ 1	ソフトフェイザー + ミディアムショートリバーブ
35	ゲートリバーブドラム 2	約 1.2 秒のゲートタイム	85	フェーザー+リバーブ 2	ディープフェイザー + ミディアムロングリバーブ
36	リバーブ短	約 0.8 秒のリバーブ増加	86	ピッチ+リバーブ 1	ソフトボイスデチューニング + ミディアムショートリバーブ
37	リバーブ中	約 1.2 秒のリバーブ増加	87	ピッチ+リバーブ 2	四度上のインターバル + ミディアムロングリバーブ
38	リバーブ長	約 2.0 秒のリバーブ増加	88	ディレイ+リバーブ 1	ショートディレイ + ミディアムショートリバーブ
39	リバーブ特大	約 3.0 秒のリバーブ増加	89	ディレイ+リバーブ 2	ミディアムロングディレイ + ミディアムロングリバーブ
EARLY REFLECTIONS 40-49			MULTI 2 90-99		
40	アーリーリフレクション 1	短い	90	ディレイ+ゲートリバーブ	ショートディレイ + ミディアムロングゲートリバーブ
41	アーリーリフレクション 2	中くらいに短い	91	ディレイ+リバーブ	ミディアムショートディレイ + ミディアムロングリバーブ
42	アーリーリフレクション 3	中くらいに長い	92	ディレイ+コーラス 1	ショートディレイ + ソフトコーラス
43	アーリーリフレクション 4	長い	93	ディレイ+コーラス 2	ミディアムロングディレイ + ディープコーラス
44	ショートアンビエンス	短い	94	ディレイ+フランジヤ 1	ショートディレイ + ソフトフランジヤ
45	ミドルアンビエンス	中くらいに短い	95	ディレイ+フランジヤ 2	ミディアムロングディレイ + ディープフランジヤ
46	ライブアンビエンス	中くらいに短い	96	ディレイ+フェイザ 1	ショートディレイ + ソフトフェイザ
47	ビッグアンビエンス	中くらいに長い	97	ディレイ+フェイザ 2	ミディアムロングディレイ + ディープフェイザ
48	スタジアム	長い	98	ディレイ+ピッチ 1	ショートディレイ + フォースダウンインターバル
49	ゴーストアンビエンス	特別な超長いエフェクト	99	ディレイ+ピッチ 2	ミディアムロングディレイ + マイナーサードアップインターバル

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



これにより、Music Tribe は、この製品が指令 2014/53/EU、指令 2014/30/EU、指令 2014/35/EU、指令 2011/65/EU、および改正 2015/863/EU、指令 2012/ に準拠していることを宣言します。19/EU、規則 519/2012 REACH SVHC および 指令 1907/2006/EC。

EU DoC の全文は、<https://community.musictribe.com/> で入手できます。

EU 代表: Music Tribe Brands DK A/S

住所: Gammel Strand 44, DK-1202 København K, デンマーク

UK 窓口: Music Tribe Brands UK Ltd.

所在地: 8階, 20 Farringdon Street, ロンドン EC4A 4AB, イギリス

We Hear You